

日時▶2022年4月14日(木) 12:50~13:50

会場▶第6会場(大阪国際会議場 10階 1008)

オンデマンド配信期間▶2022年4月28日(木)~5月27日(金)



国産のIOLって 実際のところどうなの!?

~令和生まれのプリロードIOLシステム~



座長



Kazuno Negishi

根岸 一乃先生

慶應義塾大学
医学部眼科学教室 教授

座長のことば

白内障手術の進歩と共に、さまざまな眼内レンズ(IOL)が開発されていますが、臨床において単焦点IOLの使用頻度が最も多いのが現状です。またプリロード型のインジェクターの完成度も高く、非常に使用しやすい物が多く発売されており、術者として迷ってしまうことも少なくありません。術者が安心して使用できるプリロード型IOLは、患者さんにとっても良いIOLであることは間違いないと思います。本セミナーでは、安心して使用できるIOLに必要なことはなにかを掘り下げてみたいと思います。

手術経験の豊富な先生方が安心して使用できるポイントに着目し、安全に使用できるプリロード型IOLのポイントを永田先生(獨協医科大学)に、硝子体術者にとって使用しやすいIOL選択のポイントを太田先生(MIE眼科)に、術後成績をふまえて安心できるプリロード型IOLについて大澤先生(眼科三宅病院)にご紹介して頂きます。

本セミナーを聴講頂き、IOLの選択基準ポイントについて一緒に考えて頂く機会となれば幸いです。多くの先生方のご来場をお待ちしております。

演者



Mayumi Nagata

三デック社製IOL&
インジェクターの歴史と進化

永田 万由美先生

獨協医科大学眼科学教室 学内准教授

演者



Syunsuke Osawa

硝子体手術でのIOL選択について
~安定した固定性を追求したIOL形状~

大澤 俊介先生

医療法人MIE眼科 理事長

演者



Ichiro Ota

NSP-2早期術後成績について
~安心できるプリロード型IOL~

太田 一郎先生

医療法人湘山会眼科三宅病院 院長